



## 株式会社日本バイオリサーチセンター

Nihon Bioresearch Inc.

〒501-6251 岐阜県羽島市福寿町間島6丁目104番地

TEL 058(392)2431 FAX 058(392)2432

URL: <http://www.nbr.co.jp/>

## 日本バイオリサーチセンターから学会発表のお知らせです！

皆様のお越しをお待ちしております。

覚醒ミニブタの膀胱機能に対する非選択的 $\beta$ 受容体刺激剤 isoproterenol の作用

・加藤 正巳：

## 『第1回 排尿障害モデル動物研究会』

日時：2008年8月29日(金) 14:00~16:40 (情報交換会：17:00~19:00)

場所：ホテルセンチュリー静岡 (JR静岡駅 南口より徒歩1分)

## 問い合わせ先

第1回 排尿障害モデル動物研究会事務局  
静岡県立大学医療薬学大講座薬物動態学分野内  
TEL：054-264-5631, FAX：054-264-5635  
E-mail：ud-eara@u-shizuoka-ken.ac.jp

## 嗅球摘出ラットの情動過多および脳内モノアミン遊離に及ぼす SNRI および SSRI の影響

・村澤 寛泰ら (演題番号:S-3)：

## 『第12回 活性アミンに関するワークショップ』

日時：2008年8月29日(金) シンポジウム 10:05~12:10

場所：昭和大学 上條講堂 (東急 旗の台駅 東口より徒歩5分)

## 問い合わせ先

第12回 活性アミンに関するワークショップ事務局  
山元 俊憲 教授(昭和大学薬学部臨床薬学教室)  
TEL：03-3784-8221  
e-mail：prinyaku@pharm.showa-u.ac.jp  
『活性アミンに関するワークショップ』事務局  
東北薬科大学薬理学教室(只野 武 教授)  
担当者：中川西 修(なががわい おさむ)  
TEL & FAX：022-727-0123  
e-mail：osamun@tohoku-pharm.ac.jp恐怖条件付け装置内で発現する嗅球摘出ラットのすくみ行動およびパニック様行動  
に対する薬物の効果

・松田 智美ら (演題番号および発表日時：未定(分かり次第、ご案内申し上げます)：

## 『第38回 日本神経精神薬理学会』

日時：2008年10月1日(水)~3日(金)

場所：品川プリンスホテル アネックスタワー プリンスホール

(品川駅 高輪口より徒歩2分)

第18回日本臨床精神神経薬理学会 合同年会  
第38回日本神経精神薬理学会

## 問い合わせ先

第18回 日本臨床精神神経薬理学会・  
第38回 日本神経精神薬理学会 合同年会  
事務局 (株)コンベンション リンケージ内  
TEL：03-3263-8688, FAX：03-3263-8693  
e-mail：cnp-np2008@c-linkage.co.jp

## お知らせ：

・2008年10月15日(水)~17日(金)、「食品開発展2008(東京ビッグサイト)」にブース展示致します。。。

## 佐部利 典彦のアートギャラリー(11)

岐阜県出身(1969~)

## 作品解説

作品タイトル：kuruma

技法：段ボール、石膏、スプレー、300×150mm

絵だけでなく、立体もつくります。日本の象徴としての車をつくってみました。私好みの車の形です。



## 『心の絆 - その11 -』

戦後、日本は核家族を基本とする生活をモデルにして住宅施策を取りました。住宅地の分譲や住宅ローンなどで税法的に優遇した持ち家制度を作り、都市周辺に次々と新しいマンションや一軒家を造りました。「狭いながらも楽しい我が家」のキャッチコピーが流行ったこともあります。祖父母のいない夫婦と子供の核家族の一見気楽と思われる生活です。しかし、日常の生活の中に世代間の生活が見えず、知らず知らずの内に種の保存や世代交代に必要な智慧や他人への情などが伝わり難くなりました。もし、三世が一緒に住む住宅施策を推奨していたら今どうなっていたでしょうか。日頃の会話の中に親から子へ、子から孫へ伝えるものは一杯あります。その中で心の貧しさは物のない淋しさよりもっと淋しいことも伝わったような気がします。少なくとも「誰でもよかった」と他人の命を殺めるような世相は育たなかったのではと思います。今こそ当に人と人の心の絆が求められています。

こちらから  
(株)日本バイオリサーチセンター  
業務企画部の連絡先が入手できます。